

小児がん連携病院

令和元年 11 月 1 日「小児がん拠点病院の整備について」（平成 30 年 7 月 31 日付け健発 0731 第 2 号厚生労働省健康局長通知）にもとづき、小児がん連携病院に指定されました。

2014 年陽子線治療センター開設以来、414 症例（2019 年 8 月現在）の陽子線治療を行ってきました。このうち小児がんに対する陽子線治療は 36 症例、近隣においては地域の小児がん診療を担う信州大学医学部附属病院、長野県立こども病院と「小児陽子線治療の連携協定」を締結し、円滑かつ安全な陽子線治療に努めています。

当院では、関東甲信越地域における小児がん拠点病院である埼玉県立小児医療センター、国立研究開発法人国立成育医療研究センター、東京都立小児総合医療センター、神奈川県立こども医療センターとの連携を進め、小児がんの患者さんとそのご家族が安心して適切な医療や支援を受けられるような環境を目指しています。

小児がん連携病院指定書

社会医療法人財団慈泉会 相澤病院

「小児がん拠点病院等の整備について」（平成 30 年 7 月 31 日
付け健発 0731 第 2 号厚生労働省健康局長通知）に基づき、
小児がん連携病院として下記の通り指定する。

記

期 間	令和元年 11 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日
連携先 および 指定元	埼玉県立小児医療センター 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 東京都立小児総合医療センター 神奈川県立こども医療センター
類 型	類型 2（特定のがん種等についての診療を行う連携病院）

令和元年 11 月 1 日

関東甲信越地域小児がん医療提供体制連絡協議会

会長 五十嵐 隆

